

平成29年度当初予算への要望

【地域要望】

平成28年8月12日

豊田市議会自民クラブ議員団

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成29年度当初予算への要望

【挙母地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	朝日丘	東高跡地における新博物館建設の推進	<p>県立東高校の跡地利用については、博物館法に基づく新博物館を建設する方針が決まった。28年度基本構想策定、29年度基本計画策定にあたっては、小坂区、樹木区、両区街づくり委員会、内藤学文公顕彰会そして挙母祭り保存会の地元6団体をはじめ地元の意見や要望を計画策定に反映されたい。</p> <p>①博物館施設のみでは集客できないのでコミュニティー施設、飲食施設の位置づけを。②入口は国道153号からがベター。③駐車場の位置づけは博物館の中にも必要。④美術館の高低差が大きく交流しづらいので一考が必要。</p> <p>【場所:小坂本町5丁目地内】</p>
2	継続	朝日丘	街区公園の新規建設	<p>自治区北部に公園がないため、北部地域の住民に良い居住環境を整備していくことが必要。仮にこの公園用地の所有者が民間に土地を売却した場合、二度とこの用地は取得できなくなる。開発住宅が密集し、住環境が損なわれることが明白。</p> <p>災害時の一次避難場所としての活用による安全安心な街づくりに役立つため、早期に街区公園として都市計画決定まで進め、公園を建設してほしい。</p> <p>【所在地は三軒町1丁目地内。旧市営三軒町住宅跡地に隣接する東側の農地と山林。所有者は1家族】</p>
3	継続	朝日丘	毘森公園の再整備の推進	<p>毘森公園の再整備については、中央公園整備との施設配置や機能を有機的に考慮すべき。中心市街地に所在する都市型公園として、駅西区域の整備として都心環境計画との整合を考慮し、早急に整備すべき。</p> <p>なお、計画策定にあたっては、公園用地内で小坂の住民によるボランティア団体が自主管理する近自然型の「小坂の郷」を整備・維持管理しており、よって地元小坂自治区の意見や要望を最大限、計画策定に反映できるようにしてほしい。</p> <p>①災害時の拠点場所でもあり都市公園として駅前再開発と合わせ早急に公園計画を推進していただきたい。②公園用地の一部を小坂区が借用し小坂の郷としてビオトープ計画を進めているので公園計画と合わせて整備してほしい。③地元小坂自治区の意見や要望を反映していただきたい。</p> <p>【小坂町1・2丁目】</p>
4	継続	朝日丘	県道豊田東郷線の都市計画改良の早期事業化	<p>県道豊田東郷線(都市計画東郷豊田)は交通量が多く中心市街地に接続する重要な幹線道路だが、歩道幅員が狭く歩行者、自転車の通行が危険な状態である。</p> <p>現状は幅員約10mだが、幅員16mに改良する都市計画決定がされて以来、事業化が進んでいない。</p> <p>都市計画改良を早期に事業化していただきたい。</p> <p>【区間:小坂町7丁目の三九朗病院交差点から小坂本町1丁目の富士火災交差点までの延長約800m】</p>
5	新規	朝日丘	市道小坂三軒2号線改良の早期事業化	<p>この市道は、市道認定されて以降、1人の地権者の協力が得られないまま20年以上が経過している。</p> <p>この市道は、衣丘小学校北西角から市道三軒家ハツ迫線までの区間で、旧挙母揚水の水路敷。地権者への切れ間ない交渉を継続すべき。</p> <p>市道改良による市道開設ができない場合は、復員3mの自転車歩行者専用道として整備してほしい。</p> <p>【三軒町5丁目6丁目】</p>

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成29年度当初予算への要望

6	新規	朝日丘	市道三軒1号線改良の早期事業化	三軒屋公園の西側を南北に走る市道三軒1号線は新設道路であり、1人の地権者の協力が得られないまま10年以上が経過している。 この市道は、市道小坂三軒2号線とセットで改良が進めば、市道豊田刈谷線から鉄工団地を結ぶ地域の重要路線となる。狭い道を走る大型車を解消でき、学童通学路の安全につながる。 地権者への切れ間ない交渉を継続すべき。 【三軒町5丁目】
7	新規	朝日丘	市道認定と早期整備事業化	住宅街へ進入する道路が鋭角交差点で、その先も片側が交代義務のない農地のため復員が狭く、すれ違いができない状況となっている。 その解決策として、小坂町5丁目の市道小坂朝日線と、三軒町1丁目の市道平戸橋土橋線(旧道)を結ぶ路線を市道認定し、整備を進めていただきたい。(一部新設、一部は開発等に伴う道路) 【小坂町5丁目、三軒町1丁目】
8	継続	朝日丘	市道青木新生線の道路拡張	枝下用水～小坂若林線(市道青木線)約500M間は狭隘で、南部分は田畑で3～4M落差があり、対向車がある場合、待機を余儀なくされるとともに、歩道も設置されておらず、自転車・歩行者と車との接触事故。また、車同士の事故により、南側田畑に転落など、事故が発生している。この部分は北側が緑地指定されており、公園用途以外の道路拡張は難しいのが現状である。(考え方) ①本来該当地域をみると、緑化面積からも枝下用水から北側にかけて都市緑化部分を指定すべきと思われる。②北側5名の地権者の同意も南側の地権者と比較して交渉が容易と思われる。③都市緑化区域の除外検討を再度要望。④車道、歩道など一体的整備
9	継続	朝日丘	基幹バス運行路線の新設/①小川・細谷町経由/②新生町経由/公共巡回バスの3路線	①豊田市駅～小川・細谷町経由 ②主要公共施設(美術館・文化会館)経由の巡回バス路線新設 (1)都心部の交通渋滞緩和及び乗入れ抑制と環境モデル都市としての低炭素社会実現を図るための路線新設 (2)核家族化による高齢者の福祉対策 (3)公共交通機関の未運行地域(特に市街地域)の運行
10	継続	朝日丘	小川町4丁目北側と豊田ダンボール倉庫東側間の狭隘道路改修	要望箇所は、普通乗用車1台分の余地しかなく、対向車はもちろん自転車との擦れ違いも出来ず、接触事故も起きている。また、緊急車両も通行困難で早急な対応が必要。
11	継続	朝日丘	国道155号御幸3丁目交差点より南方面の道路拡張	R155号交差点から南方面道路(旧安城街道)は、朝夕の通勤車両が多い道路で、同時時間帯は通学者も多く、歩道も設置されておらず、接触事故がふえている状況である。安全対策として歩道の設置をあわせて道路拡張が必要である。暫定的に待機場所の設置の必要性あり。
12	継続	朝日丘	国道155号御幸3丁目交差点より土橋方面への右側部分の歩道の設置	R155号道路は、主要幹線道路で朝夕の通勤車両が多い道路で、形態も緩やかなカーブと下り坂のため、スピード制御が難しい。また、通学時間帯は自転車などによる児童・高校生の通学路のため、安全対策上早期改修が必要である。
13	継続	朝日丘	新生公園の早期実現・樹木公園の整備	震災時の第1次避難地として広域避難機能とともにスポーツ施設としての住区基幹公園として早期計画の実現が望まれる。この公園は計画構想から十数年が過ぎ、その後進展もなく土地所有者も市街化区域のため、固定資産税補填による土地利用もあり、民間利用などにより、虫食い状況である。そのため、公園計画自体に支障が生じる可能性が大である。あわせて樹木公園の考え方についても同様。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成29年度当初予算への要望

14	継続	豊南	三河豊田駅前広場の改修	現在、愛知環状鉄道駅の三河豊田駅の駅前広場には噴水が設置されているが、年間を通して水は流されてなく、また多くの樹木があり、駅前広場としての機能を阻害している。また、地元住民による「三河豊田駅前広場を考える会」も設立され、交通結節点機能を高める駅前広場に全面改修を要望する。
15	継続	豊南	安永川改修事業に伴う公園整備等	安永川改修事業は、国県市事業であり、市街地の排水を一手に受ける河川事業である。この事業が完成すれば、地域の環境は大きく変わり、交通渋滞や違法駐車などが予想される。こうしたことを解消するため、明治用水と新安永川の区切られた区域を公園等に整備することによって、より安全安心な環境が整う。
16	継続	豊南	地域体育館整備	地域住民の健康福祉施策として要望する。特に豊南地区には河合池運動広場が整備されており、一体の整備を行えば、相乗効果もある。
17	継続	豊南	交番設置	豊南地区は、トヨタ自動車本社で地域が分断されており、豊田市のいう「中学校単位で一つ」という基準に合わない地域である。特に地域性に留意され、地域住民の安全安心のため、交番設置を強く望む。
18	継続	豊南	明治用水耐震化工事に伴う暗渠化	平成26年度より明治用水耐震化工事が水源頭首工より始められる。その説明によれば、人家のないところでは「開渠」で整備する方針のようだが、頭首工付近は、歩道が設置されておらず、交通量も多いため非常に危険である。「暗渠」にすれば、その上部を有効利用し、歩道など設置すれば、地域住民のみならず、多くの市民が利用できる。
19	継続	逢妻	柿本公園の整備再開／柿本町	都市公園として用地を取得し、地域住民のワークショップにより、設計も完了しているが、更地のまま何年も利用されていない。平成27年度には再度ワークショップが開催され、整備再開に向けての動きがあった。防災公園としての機能もあるので、投資効果が得られるよう、確実に着工するよう要望する。
20	継続	逢妻	市道：本地柿本線の拡幅延長／柿本町	当該市道は、トヨタ元町工場の巨大駐車場の出入口があり、朝夕は慢性的な渋滞を起こしている。さらに大型小売店の開店、西BPの整備による転回禁止により通行量が増大している。平成26年度、柿本町3交差点から西に約80mの区間で拡幅工事が始まったが、そのさらに西にはタイヤメーカーの倉庫があり大型車両が往来するために、すれ違いができない状態である。その倉庫への進入口までの早期拡幅を要望する。
21	新規	逢妻	交通安全対策／田中町	田中町5丁目松美ビル駐車場地内において内科クリニックが建設中であり、市道259田中聖心線を挟んだ向かいの店舗跡に調剤薬局が入店する予定である。当然、交通量の多い市道を患者が横断することになるので、通行車両に対して横断者に対する注意を喚起する対策を要望する。
22	継続	逢妻	市道豊田西部線のみよし市との早期開通	みよし市三好ヶ丘より豊田市内への進入道路である市道福谷一色線は、交通量も多く幅員も狭く、小中高校生の通学路として、大変危険である。よって、市道豊田西部線：朝日町～大池町間のうち久岡町～三好ヶ丘間の早期開通が求められる。
23	継続	逢妻	県道宮上知立線通学路歩道整備	宮上町2丁目交差点から本新町1丁目までの歩道は、園児、小中高校生まで多くの子供が通学している。しかし、歩道の整備が遅れており、一部は幅50cmと極端に狭く、溝の蓋も劣化し転倒の危険もある。部分的でも早急の改修が求められる。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成29年度当初予算への要望

24	継続	逢妻	宮上公園駐車場整備	現在、宮上公園では、少年サッカークラブ、子供会フットサル、マレットゴルフなど広く利用されている。特にマレットゴルフ利用者は年間約17,000人に登る。しかし、他の公園利用者との駐車場スペースの問題でトラブル等もあり、駐車場増設が急務である
25	新規	逢妻	東新町ふれあい広場整備	現在の東新町地内は、児童数も多く、安全な通学団集合場所もない。幼児の保護者数も多く散歩など屋外で過ごすスペースがない。そのような環境の中で、現状のふれあい広場を余剰地も含め拡張し、遊具を設置し、地域住民が安全に集える場所として整備が急務である。
26	継続	逢妻	広久手町4丁目～5丁目の里道の市道認定と早期整備	平成19年以来2つの自治区からの要望している。幅員も境界も解決しているので早期の市道認定と整備を要望する。将来153号が中央分離帯の計画があり、広久手町6丁目の交差点に説蔵する必要がある。また西側へ抜ける道路整備が無いため、西側への接続も必要である。7-9期生の解除も通学路ではなくなったので解除をしたい。
27	新規	逢妻	東新町1丁目58番地付近 道路高低差補正と拡幅	生活道路であるが、幅員が2.7mと狭く、交通量も多い。舗装も崩れてきており畑との高低差があるため車両の転落の危険がある。畑の地権者も協力したいと理解している。(写真地図添付)
28	継続	逢妻	市道:東名側道北2号線の改良/本地町	当該市道は、美山小学校及び逢妻中学校の通学路に指定されているが、道路幅員が狭く、自動車のすれ違いができないばかりか、歩行者や自転車にとっても危険である。平成26年度に片側にある側溝に蓋が設置されたが、道路との段差があり危険な状態には変わりがない。拡幅も含めた抜本的な改良を要望する。
29	継続	逢妻	県道打越線 本地町7丁目交差点の改良	早朝、みよし方面より豊田市に向けて交通量が増える。渋滞の要因のひとつに、西から東に向かう車が、本地町7丁目の交差点を南に曲がる車で渋滞している。交差点右折車線の整備を要望する。地権者の了解を27年度で一人もえた。あと一人地権者の理解を得られるよう地域で進める。
30	継続	逢妻	宮口神明堂線 歩道整備	汐見町の宮口神明堂線は、通学路であり交通量も多いため、歩道整備を要望する。農業用水路があり、その部分を利用した歩道の整備を要望します。土地改良との調整もできている。
32	継続	梅坪台	西山地区 交番設置	豊田刈谷線の整備も終了し、豊田南北バイパスや上豊田駅周辺のまちづくりの事業が進む中、さらなる人口増加が見込まれる地域であり、近隣に交番は無く、地域の治安維持のためにも交番設置を要望する。朝日小学校校門入口に豊田刈谷線の余剰地があり、ここに設置を要望する。
31	継続	浄水	浄水地区 交番設置	浄水地区の区画整理事業が進み、人口が急増しており、さらに近隣地区の上豊田駅周辺のまちづくり事業も、いよいよ準備段階へと進むなか、近隣に交番は無く、地域の治安維持のためにも交番設置を要望する。
33	新規	浄水	都市計画道路浄水駅南通り線延伸整備	浄水地区の区画整理事業が進み、人口が急増しており、さらに浄水中学校・交流館の開設により通行量が増加する中、浄水駅南通り線及び東通り線の延伸整備を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成29年度当初予算への要望

【高橋地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	新規	高橋	豊田市消防団第6分団第1部 格納庫建替	豊田市平井町6丁目16番地北側に設置されている、豊田市消防団6分団第1部格納庫が古く(S52年建設・敷地69㎡)老朽化も進み、駐車場スペースも無く早期の建替を要望する。(現在の消防団格納庫(詰所)の基準は約300㎡・駐車スペースも約4台確保とされている)
2	新規	高橋	安全な通学路確保の為に歩道設置	平井小学校へ通う子ども達が長年通学路として使用していた道が、車両の通行が多いと判断され今年度より変更された。一部の児童は1キロから2.3キロの道のりになってしまい低学年には厳しくなってしまった。元々が平井小学校移転の際に通学路として拡張された道の為、市有地に通学路用の歩道を設置し通学路として安全を確保して、昨年迄の通学路として戻して頂くよう要望する。
3	継続	高橋	県道中金～古瀬間線の拡充(県道松平志賀中金線拡幅)	矢並線～山中町間の通学路の確保のため拡充・計画的着工の方向性を作成してほしい。
4	継続	高橋	市道岩滝・百々線の延伸	平井小学校～県道細川線(平井こども園)までの延伸 昨年度土木課との立会い済み。地元同意が進めば必要性を検討との回答の為に、地元自治区内の同意を現在協議中の為に継続要望として要望
5	継続	高橋	地域スポーツ体育館及びグラウンドの設置	中学校区に体育館及びグラウンドがなく、地域スポーツクラブが盛んな地域にとって必要性がある(中学校区に一つ必要)
6	新規	高橋	豊田市消防署 東分署の本署化	地域の要望として現在、高橋地区での集合住宅を始め団地には高齢化の独居老人の方を含め1人暮らし世帯が増加(ある団地では住民の約70%を超えている)また今後も増える事が予想されている。また東分署の範囲も広範囲であり、充実した装備、人員の配置をする事で地域の安心・安全を図る為にも本署への転換を要望する(分署では市内で最も古い・S55年開設)
7	継続	美里	国道301号線整備(野見山拡幅)	主要道路である301号線の早期完成を要望する。
8	新規	美里	高橋細谷線 竜宮橋の整備	野見小学校西交差点から長興寺9丁目交差点の4車線化の工事の早期完成。
9	継続	美里	県道細川豊田線の拡幅・改修	長年要望を出しているが、道路整備が進んでいない状態歩道がない区間もあり、生活道路、通学道路としても危険な状態。歩道整備を含めた拡幅・改修の整備を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成29年度当初予算への要望

10	新規	美里	中央公園第2期整備	中央公園の整備計画がどのように進んでいるのか。また、昨年度は地域に説明会がなかったので進捗状況の説明会を開くことを要望する
11	新規	美里	美里交流館の駐車場整備	自主グループの活動が増加し、交流館の利用人数も増えている。また、自主グループとは別に、子育てや友人の憩いの場としての定着が進んでいます。
12	新規	益富	国道301号線整備(益富拡幅)	主要道路である301号線の4車線化の早期事業化決定を要望する。(泉町2丁目交差点～松平インターまで)
13	新規	益富	古瀬間町・志賀町・泉町 消防団詰所の新築	現在使用している消防団詰所が大変古い状態の中で、汚水処理場跡に、3地区合同で使用する消防団詰所新築の早期完成を要望する。
14	新規	益富	益富交流館の駐車場整備	駐車場が、現在56台のうち自主活動グループが増加し、交流館利用者数も増加している。利用者が集中する午前中は、周辺の路上に駐車している状態。数年前から駐車場不足対策を市に要望していたが、一向に解決されない状態である。増加整備を要望する。
15	継続	益富	古瀬間聖苑駐車場整備	現在ある駐車場がいっぱいになった時に、外の道まで駐車をしている現状の中、駐車場整備を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成29年度当初予算への要望

【上郷地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	上郷	愛環北野榊塚駅周辺整備	①駅ロータリーの設置 ②駐車場整備 ③駅周辺の道路整備
2	継続	上郷	市道広美榊塚線の整備／榊塚東町	①拡幅整備及び、市道のT字交差点の改良をすること。 ②市道広美榊塚線と市道東榊塚東線を結ぶこと。 ③市道東榊塚東線を柳川瀬公園内道路と結ぶこと。
3	継続	上郷	御手洗川の整備／畝部西町	県道から畝部こども園西側の御手洗川を暗渠化し緑道として活用することにより、園児の安全性も図られるため早期整備を要望する。
4	継続	上郷	畝部小学校搬入道路の整備	畝部小学校の周辺道路は、道幅が狭く大型バス、消防車(大型)の進入ができないため、早期の道路拡幅を要望する。(全自治区長要望書提出)
5	継続	上郷	猿渡川の堤防を2車線道路へ	猿渡川の整備と堤防整備に関連して、地域の長年要望である平針街道から地域文化広場に堤防道路を拡張し、道路沿いに工業団地、住宅用地を計画する。
6	継続	上郷	榊塚西町自治区 公園の建設／榊塚西町	1100世帯、3200人の自治区に遊具のある公園が一箇所しかない。子どもたちの遊べる場所や地域の人たちの憩いの場所と大災害時の避難場所となる公園の建設を要望する。
7	継続	上郷	家下川の堤防の散策と上郷藪間公園との整備	家下川の藪間公園沿いで地元有志により蛍が最近飛び交う。子供たちが水に触れるように整備を要望する。
8	継続	上郷	愛知環状鉄道の「三河上郷駅」のロータリー内の駐車場の整備と駅構内のエレベーター設置	「三河上郷駅」の駅前の駐車場が自由に無料で使用できるため、すぐ満車になり、困っている。有料または、駐車場を降車場として整備を要望する。
9	継続	上郷	トヨタ上郷工場南側の市道の歩道整備(市道竹下和会線)	トヨタ自動車(株)上郷工場南側の市道の歩道整備(市道竹下和会線) 市道は高嶺小学校や豊田工業高校の通学路で、途中に工場従業員駐車場の出入り口もあり危険。
10	新規	上郷	豊田市南部工業団地の開発事業の促進	豊田市南部の工業団地を造成のため、まず用地確保を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成29年度当初予算への要望

11	継続	末野原	明治用水暗渠化と上部利用及び周辺整備(鴛鴦町他)	安城台地を潤すべく明治に開削された明治用水の上部利用については、広美町の三連水車下流で公園やウォーキング道の整備が進められてきたが、末野原地域の渡刈・鴛鴦・永覚の各自治区内は整備されていない。従って、国・県に働きかけて国営矢作川総合第2期地区の早期着手及び、地域要望を取り入れた上部利用及び周辺整備を要望する。
12	継続	末野原	永覚町の愛環永覚駅周辺整備及び周辺道路・通学路の一带整備	永覚駅の駅ロータリー設置・駐車場整備・駅周辺道路整備(駅南側道路は狭くて危険)による利便性向上及び、平子地区の児童の通学路・生活道路において平子橋北側の明治用水沿いの道路拡幅による安全対策。道路新設も考慮した周辺一帯整備を要望する。
13	継続	末野原	幸(隣松寺含む)町地内の排水路暗渠化による通学路・遊歩道整備	隣松寺から幸町に通じる、市道側溝及び排水路に蓋をして、通学路・遊歩道の設置希望。
14	継続	末野原	宝蔵川周辺の法面・護岸拡幅等工事による住宅地・田畑等の浸水防止他	渡刈町地内の宝蔵川周辺の急斜面法面の草刈り対策及び集中豪雨時の住宅地・田畑等の浸水防止の護岸拡幅等工事の実施。
15	継続	末野原	家下川の川幅拡張による、集中豪雨時の浸水防止対策	家下川と明治用水の交差する部分は川幅が狭く、集中豪雨時には、排水できず上流の住宅地浸水が予想されるため、拡張工事を依頼。
16	継続	末野原	豊田市拳母南部地区に体育館の建設(末野原地区他)	企業収益の改善により、財政状況も好転の兆しを見せており、リーマンショックで凍結された実践計画に基づいて、豊田市拳母南部地区に地域型スポーツ施設の整備として地域体育館の建設を要望する。
17	継続	末野原	永覚新町雇用促進住宅	永覚新町雇用促進住宅には、現在160戸中137戸で入居率は86%です。国は平成33年までに廃止したい旨住民に説明をされています。多くの住民が65歳以上で大変不安に思っています。市が施設を取得することを要望する。
18	継続	末野原	永覚新町 公園整備	永覚新町には公園が自治区内に一つもなく、自治区住民が触れ合える場所がないため早急な整備を要望する。
19	継続	末野原	県道本地鴛鴦線大林町12丁目交差点の建物撤去	県道本地鴛鴦線大林町12丁目交差点に屋台の店舗が4軒あり、営業を行っている形跡がなく、建物も老朽化し、防犯上も問題があり、愛知県に対し早期撤去を市からも強く要望していただきたい。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成29年度当初予算への要望

【高岡地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	高岡	交番の移転と充実 / 若林東町	三河線複線高架化により若林駅周辺が整備され、居住人口が増加するのを期に若林交番の担当地区の変更と交番体制の充実(例えば、24時間365日の常駐・南部地区の拠点となる交番としての位置付け)などを行い、人の流れが多くなると予想される若林駅に交番を移転することを要望する。
2	継続	高岡	都市計画道路の事業化 / 若林西町 若林東町	地区内にある都市計画道路の早期事業化を要望する。 この地域には土地区画整理事業の計画が予定されているが、この辺りは以前より駅を中心に商業施設や学校等があるため人や車が多く集まってくる。 土地区画整理事業が始まるにしても、ここを利用するための流れを早期に整理する必要があると考える。
3	継続	高岡	若林神社前交差点改良 及び 若林花園線の拡張 / 若林西町	若林神社前交差点は、北方面からの車の多くが右折し若園地区方面に向かったり、直進先に変形交差点(六辻交差点)があつたりするため渋滞が発生する。 JAの店舗もあり、近隣地区より車で人が集まるので土地区画整理事業の事業化待ちでは遅く、事故等が発生する前に対応して頂きたい。 また、交差点には歩道橋もあるが子どもたちの通学路としては使われておらず、車等の視界の妨げとなっているため、撤去する必要があり、早期に整備を要望する。
4	継続	高岡	県道名古屋岡崎線・県道豊田一色線 渋滞対策 / 若林東町	この地域で交差する主要地方道路名古屋岡崎線、県道豊田一色線付近の道路渋滞が常に激しい。その結果、生活道路への車両流入が発生し近隣生活にも影響があるので対策を要望する。
5	継続	高岡	里道の市道認定と道路拡張 / 若林東町	この道路沿いには、竹元公園が新設されると共に、病院・住宅地の新設が計画されており、現在の道路幅では課題となることが予想されるので、市道認定と道路の拡張を要望する。
6	継続	竜神	市道:山の手64号線の拡張用地の買収/寿町	当該市道の拡幅は、20年前、県道:水源橋線拡幅が計画された当時から計画であるが、県道拡幅の工事終了となる現在も用地の買収がなされていない。これは分譲マンションの地権者が多数であり合意が得られていないからであるが、市が責任を持って用地を買収するということは、当時から約束である。従って用地買収にむけて努力することを要望する。
7	継続	竜神	東田区民会館前ふれあい広場の拡張/寿町	東田自治区は人口が増加しており、自治区内唯一の広場であるふれあい広場で行事を開催しているが非常に手狭になってきている。 隣接する東側の民地が、現在は企業の駐車場として賃貸されているが、その民地をふれあい広場として、用地取得することを要望する。
8	新規	竜神	県道豊田一色線宝町玉泉の横断歩道のところの押しボタン式信号設置	宝町は地区の中央を県道豊田一色線が走り、地域を分断している。沿道にあるドラッグストアを県道を横断して徒歩で利用する高齢者も多い。また、県道の南側に住宅のこどもたちは、大林高架橋の下を抜ける市道を利用して北側の通学路を使って通学をしているが、防犯上の問題も多く、保護者からは、県道をこどもたちが安心して横断できる環境を整えてほしいとの強い要望がある。昨年度横断歩道を設置してもらったが、通行量も多く、直線道路でスピードも出ており、安全確保のため押しボタン式の信号機の設置を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成29年度当初予算への要望

9	新規	竜神	竹村新池公園の拡張整備	竹村新池公園は平成13年3月に供用開始され、近隣住民の憩いの場として多くの区民が利用している。しかし公園の性格上池の部分が多く、公園内でのいろいろな活動を行うには制約がある。公園南側と東側の農地を借用して拡張し、スポーツ等区民が幅広い活動ができるスペースを確保できるように拡張整備を要望する。
10	継続	若園	(都)花園八橋線 道路新設事業	平成29年度完了で推進されてきており、同時に逢妻男川を横過する橋梁も並行して推進完了されたい。
11	継続	若園	(都)西岡吉原線 道路新設事業(主要地方道豊田一色線～逢妻男川線)	(都)西岡吉原線の道路事業が進行中である。平成27年度で、R155BP～名鉄三河線までが終了するので、続いて吉原町地内の主要地方道豊田一色線～逢妻男川間の道路新設事業に着手を願います。吉原町では、農地を斜めに計画決定されており、三角地が沢山残ってしまうため用地取得が困難であることから、その利用方法について協議しながら進めてほしい。
12	継続	若園	(都)西岡吉原線 道路新設事業(名鉄三河線～逢妻男川)	まずは、地域との話し合いを、まちづくりとして面的な整備手法での取り組み方を示して理解活動をし進めていただきたい。
13	継続	若園	三河線連続立体交差化事業	中根町～若林東町の複線高架化の推進を図られたい。
14	継続	若園	市道花園役場線 道路整備事業	工場の出入り口の問題を早急に解決し進捗を早められ、継続事業として早期の完了を目指して進められたい。
15	継続	若園	市道中根下大切線 道路整備事業(歩道設置)	用地取得を短期間に完了し、引き続き事業促進されたい。
16	継続	若園	若園中学校改築事業	若園中学校校舎の老朽化に伴い、早急な改築を要望する。
17	継続	若園	若園交流館改築事業	若園交流館は若園地区の文化交流の拠点施設であり、地域住民の交流の場でもあるが、老朽化も進んでおり、早期の改築を要望する。H26では、先進地の視察をしており、平成27年度では、先進地である浄水中学校を視察する予定である。合築についての理解度は上がって来ていることであり具体的な議論に入って頂きたい。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成29年度当初予算への要望

18	継続	前林	調整区域における小規模生鮮食品店舗の設置許可	市街化調整区域が大半の地域であるが、居住者が多い地域にもかかわらず、生鮮食品用店舗がないため、周辺都市に行かねばならず、車を利用できない高齢者等にとって大変不便を感じている。売り場面積1,000㎡程度の店舗が可能な土地利用計画を検討していただきたい。
19	継続	前林	交番の移設	現在の交番は管轄エリアの端にあり、女子学生殺害事件も未解決である。現在の交番老朽化を考慮し、地域全体の監視のために管轄エリアの中心部に移転してほしい。そのための用地も確保してほしい。
20	継続	前林	ふれあいバスの利便性向上	豊田市の中心部に向かう公共交通機関が貧弱であり、都心部との結びつきが薄い。公共交通バスのルート、ダイヤの見直しとともに、乗り換えなしで都心に向かうバスルートを確認してほしい。
21	継続	前林	都市計画道路の早期整備	都市計画道路豊田刈谷線、西岡吉原線は整備中となっているが、全線の整備に向かって整備の進捗が遅い。大型車両の通行が激しい在来道路の改善と通学路等の安全確保のため早期の整備を検討してほしい。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成29年度当初予算への要望

【猿投地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	保見	伊保貝津線の先線の早期計画	現在貝津駅で止まっている伊保貝津線の東保見町への早期延伸を要望する。
2	継続	保見	保見マレットゴルフ場の36ホール化	高齢者のスポーツ施設として、早期に測量・用地確保を希望。高齢者の健康寿命延伸のため必要な施設である。
3	継続	保見	篠原町地内の防災道路の新設	愛知環状鉄道沿いに防災道路の新設を要望する。東海豪雨の折、国道への出入りが寸断され孤立しているため、早期の実施を要望する。
4	継続	保見	貝津町の地籍調査の継続実施	国庫補助減額のため、少し遅れるとのことであるが、早期継続実施を要望する。
5	継続	井郷	布袋池(猿投運動公園内)と水無瀬川の水質保全確保と水辺・親水公園整備	昨年に引き続き、水と緑のまちづくりのために布袋池(猿投運動公園内)と水無瀬川の水質保全確保と近自然化工法などによる水辺・親水公園化整備とそのための水源確保を要望する。
6	新規	井郷	豊田市運動公園までの名鉄延伸とパークアンドライド用駐車場の用地確保と整備	猿投駅は北の玄関鉄道駅として位置づけられているが、現在は学童始め鉄道で運動公園を訪れる人たちが、道なき道を迷いながら利用しているという状況である。その改善策と運動公園利用者を増やすためにも、名鉄の運動公園までの延伸と、パークアンドライド用駐車場の整備(駐車場用地の早期取得)また、豊田市に移管された線路敷地の利活用もあわせ要望する。
7	継続	井郷	都市計画道路等幹線道路の事業化・早期着工・前倒し早期整備・早期開通 ①(都)猿投停車場線 ②(都)猿投学校通り線 ③(都)名古屋豊田線(県道) ④(都)御船花本線(県道) ⑤(都)豊田多治見線(国道) ⑥(仮)四郷貝津線 ⑦市道大釜鳥坂根線	豊田市北部の都市計画道路等幹線道路の事業化・早期着工・前倒し早期整備・早期開通は合併地区と旧市との交通網の整備確立のためや、北部における安全安心の生活環境整備、各公共施設・準公共施設・工業施設誘致施策等にも重要である。これらを踏まえた政策的な道路整備の推進を要望する。
8	新規	井郷	マレットゴルフ競技場移転整備計画の推進及び造園施工	マレットゴルフ競技場移転整備計画の推進と地工地建及び造園専門業種による造園施工工事の実現。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成29年度当初予算への要望

9	新規	井郷	地工建及び造成・造園其々の専門業種による造成・造園施工工事の実現	豊田市製材工場の早期整備計画の推進と地工建及び造成・造園其々の専門業種による造成・造園施工工事の実現。
10	新規	井郷	北部給食センター移転に伴う跡地利活用について地域要望実現にむけた調整	北部給食センター移転に伴う跡地利活用について地域との要望意見を主体とした利活用の推進の調整の徹底。
11	継続	石野	通学路の歩道の設置(自転車共用)	国道153号の勘八町勘八交差点から力石インター東交差点までの歩道整備、秋には香嵐溪方面への渋滞箇所で大変危険である。早急な整備を要望する。 (国交省から事業化連絡あり、継続して早期実施を要望)
12	継続	石野	石野中学校への進入道路の確保	石野中学校は、緊急時に市民の避難所として指定されているが、国道153号からの正門進入路に限られているため、災害により進入路が絶たれた場合にも避難所の安全確保のため整備を要望する。
13	新規	石野	おいでんバス「さなげ・足助線」経路地変更	おいでんバス「さなげ・足助線」は旧三河線広瀬駅から石野運動公園を經由して力石へという路線となっている。現路線から三河広瀬駅から上切広斎寺・小峰口・下室を經由する路線の変更を要望する。 現路線は人家も少なく、利用者の少ない路線となっている。 要望路線は石野地区3666名のうち、1428名、43%が生活し、利用者増が一番望めるコースであり、石野地区が直面する過疎化対策・人口増対策としても大変有効であり、路線変更を強く要望する。
14	継続	猿投	加納～西中山の道路拡幅	本路線は猿投地区と旧藤岡西中山メグリアなど商業施設と連絡する地域の生活幹線道路であり、沿線には平成28年10月に高齢者福祉施設の開設が予定されている。平成26年度に測量設計等拡幅事業への着手にお礼申し上げますと共に早期の事業完了を要望する。
15	継続	猿投	乙部ヶ丘団地～猿投中学校への通学路整備	平成28年度の猿投中の生徒数は310名、内187名が乙部ヶ丘団地からの生徒であり、平成32年には478名に増加し、乙部ヶ丘団地の生徒数が337名となると推計されている。 現在市において市道整備が進められていますが、全線の完成までには5年程度期間を要し、現在の通学路が1メートル程度と危険な状況にあり、市道の完成までの暫定通学路整備が必要。
16	継続	猿投	(仮)水辺ふれあいプラザ事業	本事業は、矢作川水系に生息する魚類が年々減少する中、これらを還元させ、子供たちに魚類の生息状況など生態の学習施設として計画された。用地取得は平成19・20年度に買収されたが、具体的な整備内容、整備スケジュールが明らかにされていない。現在、約2ha土地を地元で管理しており、早期に今後の整備方針をまとめ地元との協議調整を要望する。
17	新規	猿投台	ゾーン30の指定	平成28年度は、「猿投ダンプ事故」50周年を迎え、様々な交通安全対策の取組みが予定されている。猿投台地区において更なる安全対策の強化策として同地区でのゾーン設定が望まれる。
18	継続	猿投台	枝下町地内採掘現場修復と産業廃棄物不法投棄監視	枝下町地内の過度な砂利採取は、地域住民に不安感を増大させている。併せて、産業廃棄物の不法投棄も危惧される。管理監督は愛知県ではあるが、豊田市の立場からも愛知県に対して、一日も早い対応をするよう要望する。また、産業廃棄物の不法投棄にも監視の強化を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成29年度当初予算への要望

19	継続	猿投台	勘八公園・前田公園整備推進	民芸の溪構想で予定のある同公園の早期事業化を要望する。具体には、勘八公園は昭和57年に都市公園とい続けられているが事業がストップしている。また、前田公園は市民広場条例の位置づけであり、都市公園と位置づけ、公園としての機能を高めてほしい。これにより民芸館、民芸の森との連携強化により集客が期待できる。
20	継続	猿投台	名鉄越戸駅のバリアフリー化推進	交通安全対策、高齢化対策、障がい者対策に対応するため、社会資本整備の一つとして越戸駅のバリアフリー対策を要望する。
21	継続	猿投台	市道御船広瀬線の整備	同路線は、数十年前に市道認定されているが、整備が行われておらず、今後の防災、生活道路を確保する上からも早期の事業化が望まれる

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成29年度当初予算への要望

【松平地区】

番号	提出 状況	中学校区	要 望 事 項	具 体 的 内 容
1	継続	松平	屋根付き多目的広場の整備	松平地区には、住民活動の拠点となる公共施設が不足しており、住民のふれあいの場として利用できる施設の建設が長年の要望である。現在民間施設を借りて実施している地区イベント、地域で盛んなテニス・ゲートボールなどのスポーツや災害時の活用などが見込まれる屋根付き多目的広場を現在整備中の(仮称)松平市民広場内での整備を望む。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成29年度当初予算への要望

【藤岡地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	藤岡	国道419号の改良整備(藤岡飯野交差点他)	藤岡飯野交差点をはじめとする国道419号は、周辺の住宅地や工場などへの交通集中により、朝夕に各所で慢性的な交通渋滞が発生し、市民生活に支障をきたしている。このため、事業着手された藤岡飯野交差点改良及び迫八反田交差点改良は交通の要衝であり、早期完成に向け集中的な整備を要望する。また、当該国道は小・中・高校生の通学路としての利用が多く、歩道の新設や拡幅などの早期整備を要望する。
2	継続	藤岡	市道藤岡飯野広瀬線改良整備	市道藤岡飯野広瀬線改良整備は歩道もなく、通学児童や高齢者が交通事故の危険にさらされている。また、グリーンクリーンふじの丘建設時の地元住民の約束条件であり、早期の改良整備を要望する。
3	継続	藤岡	新設市道の整備(北一色～迫～深見～西中山)	藤岡飯野交差点の慢性的な渋滞を回避するための新設道路を要望する。
4	継続	藤岡	県道大平折平線の拡幅整備(大岩町地内)	県道大平折平線の拡幅整備は県道でありながら幅員が3.5mしかなく、大岩町住民と隣接の小原地区大平町住民は、車の通行に大変苦勞している。さらに道路も屈曲部が多く通学児童や高齢者は交通事故の危険性にさらされているため早期の拡幅整備を要望する。
5	継続	藤岡南	国道419号辻貝戸交差点改良	小・中学校生徒の通学安全確保するため、早期の改良を要望する。
6	継続	藤岡南	国道419号バイパスの早期着工	国道419号西中山町地内の渋滞緩和のため、早期着工を要望する。
7	継続	藤岡南	国道419号の通学路整備 深見町常楽交差点(西側)歩道設置	小・中学校の通学路の安全確保のため早期設置を要望する。
8	新規	藤岡南	藤岡南交流館の建替え	平成23年4月の藤岡南中学校開校に合わせ、既存の公共施設を転用して開館した。このため、必要な諸機能の不足・低下はもとより、築30年が経過することで建物本体の老朽化が目立っている。平成29年1月からの新成人を祝う会の単独開催がキャパ不足で開催できないなど、地域交流拠点としての機能不足が著しいため、早期の建替えを要望する。
9	継続	藤岡南	藤岡南地区運動広場建設	藤岡南地区には運動広場がないため、早期建設を要望する。
10	新規	藤岡南	体育館及び校外トイレ建替え	学校の生徒数規模に対し、手狭で老朽化しており、トイレに関しては、立地上、防犯的に問題点が多くあり、建替えを要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成29年度当初予算への要望

【小原地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	新規	小原	市有財産を活用した住宅、宅地整備／永太郎町、小原町、遊屋町	旧老人憩いの家、旧教職員住宅及び29年度に取壊しが決まっている小原郷土館など、おいでんさんそんビジョンに登載された取組に基づいて未利用な市有財産を活用し、移住、定住の促進を図るため、住居、宅地の整備を要望する。
2	継続	小原	四季の回廊整備事業の促進／永太郎町他	四季の回廊ミュージアム構想は、第7次総合計画に位置付けられ順次整備が進められてきた。この構想は、地域資源を活かした観光交流拠点施設の整備事業であり、地区の活性化に欠かせない。烏屋平園地の整備及び川見四季桜の里の拡充整備、和紙のふるさとの施設更新・機能強化など、引き続き第8次総合計画へ掲載し、拠点施設の整備促進を要望する。
3	新規	小原	市道築平川下線の改良／築平・川下町	本路線は、小原、旭、足助地区の地域核を結ぶ重要路線を構成するとともに、近年は地区間の観光拠点を結ぶ観光バス路線として重要性が高まっている。観光シーズンにおける観光バスの通行を考慮し、地域住民の車両と安全に交互通行できる道路改良を要望する。
4	継続	小原	市道小原赤羽根線の改良／苅萱町	苅萱町から、(主)県道土岐足助線に通じる市道小原赤羽根線は、唯一の生活道路、通学路であるにもかかわらず、平均幅員3.2mの狭小路線であり、車のすれ違いが困難で大変危険である。道路改良又は、交互通行を可能とする部分改良を要望する。
5	継続	小原	国道419号和紙のふるさと入口の交差点改良／永太郎町	国道419号と市道との取り付けが不整形であるうえに、観光施設である和紙のふるさとと小・中学校が隣接しているため、観光客の車と通学児童、生徒及び一般車両が交差することになる。また、通過車両の速度も速く危険な状況であることから、早期に交差点の改良を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成29年度当初予算への要望

【足助地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	足助	足助白山町・越田和町地内、埋立地の開発	足助白山町・越田和町地内埋立地(足助バイパス残土捨て場)の活用については、地質調査まで進んでいるが、具体的な計画にはいたっていない。豊田市としての開発計画の早期立案を要望する。
2	継続	足助	足助まちづくりプランの市計画としての位置づけと策定と、国際観光都市建設を視野に入れた観光資源の再整備	足助の町並み整備は『まちづくり交付金事業』が完了し、一応の計画は終了している。しかしながら、リーマンショックによる予算の減額などにより、多くの課題が残されたままになっている。また、足助地区には、全国的な知名度を有する香嵐溪を始め魅力ある観光資源があり、国内外から多くの観光客が訪れ、本市の観光まちづくりに大きく貢献している。近年、日本を訪れる外国人観光客の増加に伴い、足助地区においても中国人はじめ外国人観光客が増加傾向にある。国家的ビッグイベント開催を視野に、本市の有力な観光資源を磨き上げる(再整備する)ことにより、本市の世界的認知度、都市ブランドを向上させることが可能となる。合併時の新市建設計画においては、「香嵐溪施設整備事業」(ライトアップ更新等)、「奥香嵐溪開発整備事業」、「香嵐溪アクセス歩道等整備事業」など、観光資源の整備が掲げられているが、一部を除いて計画化されていない。
3	継続	足助	足助支所新築の早期実現	足助支所の新築については、経済状況の悪化から延期されている状況にあるが、景気浮揚・市税収回復が実現された現状から、早急に計画の実行に着手していただきたい。
4	新規	足助	新盛里山耕第2期計画の早期着工と、拠点施設としての『道の駅』建設	新盛里山耕は、『里山くらし体験館ーすげの里ー』を拠点施設として『里山耕流塾』など都市と農山村の交流事業を展開している。平成19年に策定された『山村活性化事業「里山耕」基本計画』では、第2期拠点施設の建設が計画されているが、リーマンショック等の影響で実現に至っていない。早期の計画実現を要望する。
5	継続	足助	旧愛知県東加茂事務所跡地・学校跡地・老人ホーム跡地等の有効活用	旧足助町時代に活用されていた『西部中学校』(国谷町)、『老人ホーム跡地』(近岡町)の活用計画が、様々な要因で進捗していない。また、『旧愛知県東加茂事務所』が解体され空き地となる街並み整備と連携した有効利用を期待している。地元自治体に有意義な活用方法の早期実現を要望する。
6	継続	足助	旧いこいの村施設の再整備・再利用化	旧いこいの村愛知は足助町時代に、愛知県が閉鎖して以来、10年以上が経過しようとしている。足助地区では市有地として有益な場所であり、地域活性化のためにも、早期再整備・再利用化の計画策定を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成29年度当初予算への要望

【下山地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	下山	県道作手善夫大沼線の改良整備／大沼町	① 県道作手善夫大沼線は、下山地区の中央を東西に結ぶ主要路線である。未だ狭あいで、カーブが急で危険箇所が多く冬季には事故も多い。安心安全な通行可能となる早期の改良整備を要望する。 ② 大沼町大畑地内における一部狭あい箇所は、車両のよけ合いが困難であり、危険である。地元住民の通行、又観光等に訪れる車の通行も多く、事故発生も懸念されるだけに、早期の改良整備を要望する。
2	継続	下山	市道下山二本松名牛線(名牛集落側)、市道下山越田和ドドメキ線(越田和集落側)及びこの2路線を連結するバイパスの改良整備／大沼町	市道下山二本松名牛線及び市道下山越田和ドドメキ線は、地域と支所等の下山中心地区を結ぶ重要な路線である。しかし、急なカーブや狭あいで危険箇所が多く住民生活や児童生徒の安全な通学に支障をきたしている。この2路線を結ぶバイパス部分を含めて一体的に整備することにより、飛躍的に利便性が向上し、定住促進にもつながるため、早期の改良整備を要望する。
3	継続	下山	主要地方道足助下山線の改良整備／大沼町	主要地方道足助下山線は、支所間を結ぶ重要路線である。基幹病院である足助病院通院の重要な路線であるにもかかわらず未だ多くの箇所が狭あいで危険の多い道路である。 本路線は、合併時に県事業として新市建設計画に策定されている道路であり、下山地区と足助地区の双方からの狭あい箇所解消に向けて早急な改良整備を要望する。
4	継続	下山	市道フタ瀬草木線道路舗装/羽布町	市道フタ瀬草木線(延長約8km)は三河湖左岸道路である。下山地区の賑わいづくり推進の核となる三河湖を周遊する観光道路である。 ほとんどが未舗装であり、近年特有の豪雨で路盤浸食も激しく、交通事故等の危険性をはらんでいることから計画的な整備を要望する。
5	継続	下山	下山ウツキフ子切山線/花沢町・大沼町	県道「坂上花沢線」と県道「足助下山線」を接続する道路である。通学路であるが、狭あいの上にロイヤルカントリークラブ往復の通行車両が多く危険度が増していることもあり、早急な道路拡幅整備を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成29年度当初予算への要望

【旭地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	旭	笹戸会館敷地内の不要公共施設解体撤去後の活用	笹戸会館敷地内にある稚蚕共同飼育所等の建物の早期の解体撤去とその跡地利用として、消防団詰所及び防災倉庫の早期建設を要望する。
2	継続	旭	旭交流館・旭支所駐車場の再整備	交流館事業や小渡を中心に実施する観光まちづくりイベント時などの利用者及び来訪者駐車場が枯渇している。旭支所公用車駐車場の屋根など既存構造物等の解体撤去を早期に進め、収容台数増加のための駐車場再整備を要望する。
3	新規	旭	旭高原元気村施設の魅力アップ	旭高原元気村は、旭地区の主要観光施設であり、夏期のキャンプや冬期の雪そりゲレンデを中心に利用客は年々増加しているが、更なる魅力アップと新たなリピーターの確保に向け、老朽化施設の改修を含めた宿泊施設の充実を要望する。
4	継続	旭	旭地区県代行林道浅野線の舗装整備促進	平成26年度に整備事業完了した県代行林道浅野線について未舗装区間が大部分であるため、引き続き舗装整備を要望する。
5	継続	旭	主要地方道豊田明智線の整備促進	旭地区内の主要地方道豊田明智線の浅谷町～須淵町間のバイパストンネル事業は、平成20年度から用地買収が始まっている。引き続き県と連携し、事業の進捗状況の見える化を含め早期実現に向けた迅速な事業促進を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成29年度当初予算への要望

【稲武地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	稲武	「重点」道の駅「どんぐりの里いなぶ」を核とした総合的なまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・重点道の駅の整備を進めていくうえで、国に対して交付金・補助金の優先的支援を要望する。 ・市は、重点道の駅を核として、道の駅の機能拡張や周辺の整備を進め、併せて稲武地域全体のまちづくりを進めることを要望する。
2	継続	稲武	「自然エネルギーゾーン」の位置付けと整備	<ul style="list-style-type: none"> ・稲武地区の大井平公園に小水力発電施設が設置された。また、自治区主体で富永町が設置、大野瀬町地内でも自治区主体で水力発電施設の整備が検討されている。 ・面ノ木風力発電所の余剰発電による水素の製造と道の駅(防災拠点として)での活用が検討されている。 ・中部電力の揚水発電所と併せて、稲武地区は全国に誇る環境学習ゾーンとなる。 ・自然エネルギーゾーンの位置付けと環境モデル都市にふさわしい一体的整備を要望する。
3	継続	稲武	稲武地区の雇用の創出と定住の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・人口の減少に歯止めがかからない中、特に14歳以下の人口の少なさは、小中学校の存続にも影響し、地域の将来に希望が持てない状況である。 ・I・U・Jターンの一層の推進や流出の防止のため交流の拡大、住居の提供や雇用の創出・紹介が必要。 ・テレワーク、農林業の6次産業化、企業誘致など稲武地域に適した産業の振興を図ることを要望する。
4	継続	稲武	スポーツ合宿の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・豊田市での2019ラグビーワールドカップの開催が決まった。稲武地区では、豊田スタジアムの芝生を育成している。標高300m～1100mの地理条件は、真夏でも快適で、山の傾斜で心肺機能が鍛えられるなど立地条件は、スポーツ合宿を推進する環境としては最適である。 ・ワールドカップ開催を契機にキャンプ地としての整備及び、スポーツ合宿の誘致による地域活性を目指すための環境整備を要望する。
5	継続	稲武	面ノ木園地・風力発電所周辺の一体的整備	<ul style="list-style-type: none"> ・面ノ木園地・風力発電所一帯は、天竜奥三河国定公園内にある本市の環境取組のシンボルであるとともに、貴重な自然・環境教育資源でもある。 ・この素材を有効に活用して、地域発展に結び付くような観光誘客や子どもたちの環境教育の場とするため、管理道路や風車及び周辺の学習環境の整備を要望する。